厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare

医療・福祉ささえる求人充足プロジェクト

～介護人材確保のためのハローワークの新たな取組～

厚生労働省 職業安定局
Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

ハローワークとは



厚生労働省が運営する就職支援や人材確保支援を行う機関です。

（その他、雇用保険制度の運営、求職中の方を対象にした無料の職業訓練制度（ハロートレーニング）の受講手続き、障害者の雇用促進等の業務を行っています。）



全国に544カ所設置されています。



ハローワーク経由の就職は年間約100万件（令和７年度、職業安定業務統計）

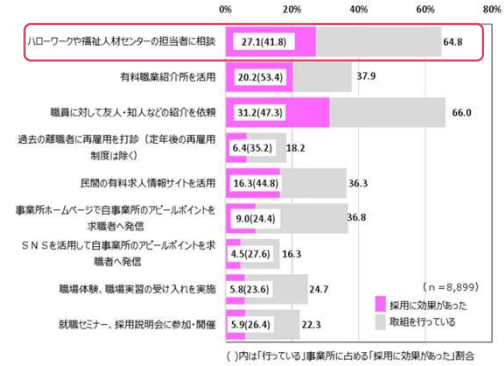
2

©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

課題①

多くの介護事業者にご利用いただくものの、各地の介護施設や介護分野の団体から、無料であるハローワークの機能強化を求める多くのご指摘。

採用活動の実施状況、効果があったもの（複数回答、事業所調査）



資料出所：（左）（公財）介護労働安定センター「令和７年度介護労働実態調査」

社会保障審議会福祉部会報告書 （令和７年 12 月 18 日）抜粋

（介護職員の入職経路）
　また、介護職員の入職経路は様々であるが、「令和６年雇用動向調査」によれば、福祉分野におけるハローワークからの入職の割合が全産業と比較して高い状況にある。
　一方で、**入職経路の観点からは、民間の有料職業紹介について、紹介料が経営的な圧迫要因となっていることから、ハローワークや福祉人材センター等の公的機関について、より細やかで迅速な対応ができるよう機能強化が必要であるとの意見**があった。
　本年４月から個々の職業紹介 事業者の紹介手数料の徴収実績の公開義務付けや、募集情報を提供する 事業者について労働者等へのお祝い金等の提供の原則禁止といった、安心・納得して雇用仲介業を利用するための対応を行っており、こういった取組を引き続き進めていくとともに、後述するプラットフォーム機能の充実を行っていくことにより、公的機関の機能・連携の強化による個別事業者への支援を図っていくことが重要である。

3

ハローワークの取組①
（医療・福祉ささえる求人充足プロジェクトの開始）





ハローワークの機能強化を目的に、令和８年度から、

医療・福祉ささえる求人充足プロジェクト

を開始。

介護施設などへの**アウトリーチ**による求人充足支援を、**全ハローワーク**（544所）の**最重点事項**として 実施。

※特定の分野を対象とした取組を全ハローワークの最重点事項とするのは初の試み。

訪問しての求人充足コンサルティング、ニーズに応じたイベント開催、ハローワークから求職者への応募勧奨などを、介護分野の求人者さまのニーズに応じ組み合わせて実施します。急募で直ちに採用をご希望の場合もご相談ください。

訪問件数	説明会等の回数	充足数
21,083回（※１）	**2,593回**（※２）（前年同期の約２倍）	**8,380人**（※１）

（※１）令和８年４月～７月の取組状況

（※２）令和８年４月～６月の取組状況

4

©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

ハローワークの取組②（ハローワークのイベント拡充）

就職面接会等イベントの拡充

令和８年度中に、ハローワーク内イベントスペース整備を進め、就職面接会、事業所見学会や求職者向けセミナーを拡充します（令和８年度第１四半期は、開催回数が前年同期の約２倍に増加）。また、介護分野を支える人材を増やすため、未経験者を対象にした介護の仕事の魅力発信セミナー等を随時開催します。　※　ハローワークの職業相談や各種イベントも入職のきっかけとして重要。

＜取組例（大阪労働局）＞



＜取組例（秋田労働局）＞



＜介護の仕事ではたらこうとしたきっかけ＞



資料出所：（左）（公財）介護労働安定センター「令和７年度介護労働実態調査」

ハローワークの取組③（「医療・福祉ささえる求人充足プロジェクト」取組事例）

東京都の事例（介護老人保健施設）　**求人票の充実や見学会の開催が採用につながった例**

- これまで退職者は少なく、人材確保にさほど苦労は感じていなかったが、職員の高齢化への対応のため採用することとした。
- 事業所の希望は、正社員は介護福祉士資格、パートは介護職員初任者研修以上であったが、経験必須とすると応募が少ないことが見込まれたため経験不問とし、**求人票についても記載内容を充実**。また、まずは**気軽に事業所のことを知ってもらうため、事業所見学・面接会を開催**することとした。
- ハローワークから、条件があう求職中の方に参加を呼びかけ、計６名が応募、２名が採用となった。

兵庫県の事例（介護老人保健施設）　**求人票の見直しが採用につながった例**

- 課題解決サポートチーム（求人事業所へのサービス強化のためにハローワークに設置した特別チーム）が事業所を訪問。事業所の状況を伺い**ハローワーク利用者のデータをもとに求人票の見直し支援**を行った。
- 具体的には、①**求人票中に「50歳以上の方活躍中」を明記**、②必要な経験・知識・技能等の明確化（必要な経験と年数の明示）、③賃金上限額の見直し、を行った。
- ハローワークにて利用者に応募を呼び掛けた結果、50代で20年以上の経験がある人材の採用につながった。

各種イベントの取組例

- 介護施設において、人手が足りておらず、職員が外部会場へ出向き長時間拘束される面接会には参加が難しいという事情もあったため、**施設の会議室を利用したツアー型面接会**を開催。
- 管轄市内の介護保険事業者が多く加盟している協議会と連携し、**求職者向けの「介護キャリアセミナー」**を実施。講師には協議会に選定いただいた介護職経験豊富な施設スタッフを招き、介護の仕事や働き方をわかりやすく説明いただいた。





©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

ハローワークの取組④
（ハローワークインターネットサービスの改善）

ハローワークインターネットサービスの改善

ハローワークインターネットサービス（ハローワークが運営する求人サイト）を、**令和８年３月に改修。**

改修内容　①ユーザーインターフェースの改善（スマホ利用に最適化）
②求人検索の利便性改善
③求人提出に係る機能の改修等により、事業主の利便性を向上

引き続き、外部コンサルティングによるSEO対策や求人提出機能の改善など**利用増や利便性向上に取り組みます**。





7

おわりに







日本成長戦略（令和８年７月21日閣議決定）にも、ハローワークの取組強化が盛り込まれました。

日本成長戦略（令和８年７月21日閣議決定）抜粋

Ⅲ.８つの分野横断的な課題の解決　５.労働市場改革　（２）対応の方向性　③講ずるべき施策パッケージ　ⅱ）円滑な労働移動の促進
（略）
医療機関や介護施設等への訪問による求人条件の見直しに係る助言や、就職面接会の開催等のアウトリーチ支援を、全ハローワークの最重点事項として実施するとともに、「課題解決チーム」による求人者・求職者双方への一体的な支援の拡充や、ＡＩを含むデジタル技術の更なる活用等によるマッチングなど、**ハローワークの機能強化を図る。**（略）

また、令和９年度予算概算要求には「ハローワークの『医療・福祉さえる求人充足プロジェクト』等による医療・介護分野等へのマッチング支援の強化」として、人材確保対策コーナーの拡充やアウトリーチによる求人充足対策の強化に必要な予算を盛り込みました。

介護分野の人材確保に一層貢献できるよう、努めてまいります。
各地のハローワークをぜひご利用ください。

8

©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

ご静聴ありがとうございました。



©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会